

海岸で捨てられたごみが  
海のプラスチックごみ問題  
を引き起こしているねんで。



こたえ



「くらしとごみ」19ページの  
コラムを見てみましょう。



コラム

## 考えてみよう！ 海のプラスチックごみ問題

プラスチックごみを減らそう！



まちや山でぼい捨てされたプラスチックごみは、やがて風や雨で川に流され、海に流れ出ます。このように流出した海の中のプラスチックの重量は、2050年には、魚の重量を超えと言われています。特に、海の中で細かく砕かれたマイクロプラスチックを魚などが餌と間違えて食べてしまうことが問題になっています。

山も川も海もつながっているやな。  
神戸は、山も、川も、海も、めっちゃ  
きれいなところやから、大切に  
きれいにしていかなあかん！



勉強したら、ワケヘンも  
わちめええこと言うようになったやん！



### マイクロプラスチック

プラスチックごみが、海の中で  
細かく砕かれ、5ミリより小さくなったものは、  
「マイクロプラスチック」と呼ばれています。



ここがポイント！



ぼい捨ては  
ぜったい  
だめですよ！

ここがポイント！



海をきれいにするために、私たちに何ができるのでしょうか？



マイバッグやマイボトルを利用して、  
使い捨てプラスチックを減らそう！



ぼい捨てはやめて、きちんと分別しよう！



地域の清掃活動に参加して、  
まちをきれいにしよう！

みんなも参加できるイベントが  
いろいろ開催されているで！

- まちのクリーン作戦
- 海岸でのビーチクリーニング
- ごみ拾いをスポーツにした「プロギング」  
など

みんなも  
できること  
考えてみて！

かいせつ  
するよ！



普通に考えたら、海岸のごみは海で捨てられたものと思ってしまうかもしれませんが、実は、海岸で捨てられたごみだけではないのです。まちや山などで、ぼい捨てされたり、正しく捨てられなかったごみが、雨や風で流されて川をつたって、海に出ていきます。ペットボトルやレジ袋に加え、海岸で捨てられたとは思えないような、洗濯バサミやプラモデルなども流れついています。海岸をきれいにするだけでなく、まちや山でごみのぼい捨てをしないことも海をきれいにするにつながっています。